

豊島区の文化財展 2008

—谷端川流域にひそむ遺跡—

豊島区では、1986年度に文化財保護条例を制定し、地域の歴史、文化や、昔の人々の生活の様子を今に伝える貴重な文化財の保護に取り組んでいます。

また、文化財の調査も進めており、さまざまな発見が相次いでいます。毎年文化財ウィークの時期には、身近にある文化財に親しんでいただくきっかけとして、区役所 1 階ロビーにて最近の調査成果をご紹介します。

今回は、豊島区内を流れる主要な川である谷端川流域の遺跡をテーマに、縄文時代から江戸時代にまで至る数々の遺跡をご紹介します。

その中には、氷川神社裏貝塚などのように、現在の日本考古学の礎が築かれた明治時代に、早くも存在が知られていた遺跡もあります。

さらに、最近の発掘調査では、旧石器時代や弥生時代、室町時代や江戸時代の生活の痕跡が発見されており、豊富な内容をもつ遺跡がいまだに地中に多く残されていることが分かってきました。

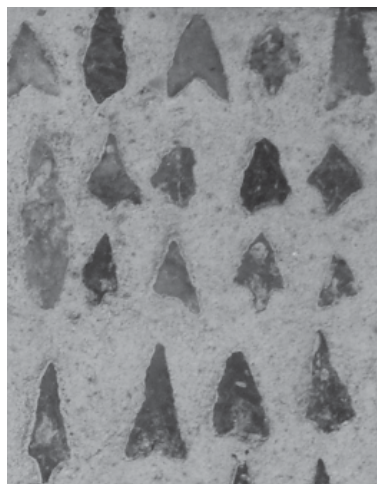
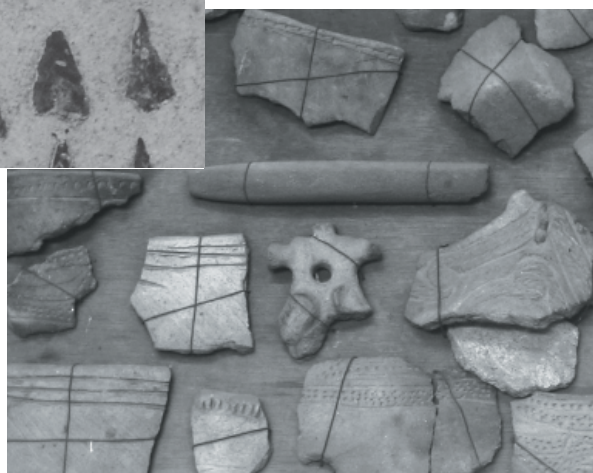


写真 / 氷川神社裏貝塚出土資料 区内個人蔵
大正から昭和初期にかけて採取された石鏃、土器



展示期間 / 2008年 10月 27日(月) ~ 11月 7日(金)

土・日・祝日を除く 午前9時~午後5時

場所 / 豊島区役所本館 1 階ロビー

東京都豊島区東池袋 1-18-1

無料

お問合せ / 豊島区教育委員会教育総務部教育総務課
文化財係 03-3981-1190

